

子どもの移動経路／通学路等の安全対策箇所図

令和4年8月時点

(府中小学校区)

【凡例】

--- : 通学路(学校指定)
※ 中学校通学路を含む

① : 要対策箇所
※ 青字: 学校



②歩道に凸凹が多くつまずく。



①大型車を含み車のおりが多く、児童の通行人数も多いため危険を感じる。すでに多くの対策済み。ダイヤマーク◇はつけない交差点なのか。



④交差点北西の水路に蓋がなく、大雨時は流れが速く危険。



⑥車の交通量のわりに狭く、カラー舗装内に車の侵入多い(昨年度から要望を継続)。



③ポールが設置された。しかし、まだ危険を感じる。横断歩道南にダイヤマーク◇なし。

⑤東進する場合直線道路が狭くなるため、道幅のわりに自動車のスピードが速い。交差点に横断歩道なし。

⑦横断歩道なしだが、横断者多い。交差点の+マークが消えて、交差点であることを認識しにくい。



⑩車どおりが多くスピードが出ている。細い道側に「一旦停止」または「止まれ」の標識を立て、細い道から飛び出さないよう注意を促してほしい。車道側にガードレールを設置してほしい。



⑧路肩の白線消えてカラー舗装のみになっている。側溝のふたの色も消えかけて、歩く場所が目立たない。



⑨高さ150cmほどの民家のブロック塀。古く鉄骨露出、控え壁がない塀。

【対策検討メンバー】

大垣土木事務所、垂井警察署、府中小学校、北中学校、PTA役員、不破地区交通安全協会、こども見守り隊、まちづくり協議会、垂井町(企画調整課、建設課、学校教育課)